

平成23年度一般会計補正予算説明資料

7款 商工費

2項 工鉱業費

2目 中小企業振興費

産業振興総室 [産学金官連携室] (内線: 7663)

(単位: 千円)

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
[債務負担行為] 農・医連携促進事業	1,182	債務負担行為額 9,000 10,926	債務負担行為額 9,000 12,108				債務負担行為額 9,000 10,926	
トータルコスト	1,981	14,121	16,102	(補正に係る主な業務内容) 補助金交付事務、農医連携の普及促進				
従事する職員数	0.1人	0.4人	0.5人					
工程表の政策目標(指標)	産学金官連携の体制づくり及び県補助制度による企業支援の強化 産学金官連携及び県補助金制度による事業化 (H23年度: 事業化件数 4件)							

説明

1 事業の目的・概要

医療における知見・ニーズと農業における技術等のマッチングの促進、先進事例の県民への紹介等により、新しい試みである農医連携の普及促進を行う。機能性野菜等の生産販売といった健康関連産業に取り組みようとする事業者の創出を図るため、農医連携を支援する補助金を創設する。

2 主な事業内容

(1) 農医連携促進連絡会の開催 (1,182千円)・・・当初予算計上済

県内の「農」「医」に係る学術機関・研究機関が保有するシーズとニーズを組み合わせ、新たな健康関連産業を創出するための連絡会を開催する。

(2) 農医協働連携事業化補助金 (9,000千円)・・・今回

「農」「医」に係るシーズ及びニーズを活用して健康関連産業の創出に取り組みようとする連携体の経済的負担を軽減することで、新たな取組を支援し、本県産業の活性化を図る。

[補助金の概要]

実施主体	農業従事者及び医療関係者、農業技術指導者の連携体 (コンソーシアム)
事業内容	農医連携に取り組む連携体に対して施設整備、製品開発、販路開拓等の事業展開のための補助を行う。(補助率: 2/3)
事業機関	最長24ヶ月/平成25年度まで債務負担
採択件数	3件/年 (上限3,000千円/1件)

(3) 農医連携事業の普及促進 (1,926千円)・・・今回

・パンフレットの作成

医療分野におけるニーズと農業技術等のシーズを掲載したパンフレットを作成し、農医連携に関心がある事業者等に配布することによりマッチングの促進を図る。

・農医連携セミナー (仮称) の開催

有識者による最新の情報提供の他、県内外の事例及び大学等のシーズを意欲のある農業関係者、中小企業者等に知ってもらい、意見の交換等を行うことで、農医連携に対する機運の醸成・マッチングの促進を図る。

3 これまでの取り組み状況、改善点

平成22年度は、農医連携促進連絡会の立ち上げを進め、農医連携のための意見交換会を開催し、今後の方向性を確認するとともに、県内の「農」「医」に係る学術機関・研究機関が保有する健康関連産業に繋がる可能性のあるシーズの把握を行った。

平成23年度は、農医連携促進連絡会を立ち上げ、医療における知見・ニーズと農業技術等のマッチングの促進等を行い、健康関連産業に取り組みようとする事業者の創出を図る。